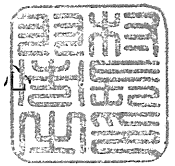


羽建施第 9009 号

平成 20 年 10 月 23 日

国土交通省道路局長 殿

羽村市長 並木



今後の道路行政についての意見・提案の提出について（回答）

平成 20 年 9 月 19 日付け国道企第 37 号で依頼のあった件について、別紙のと
おり回答します。

今後の道路行政についての意見・提案

①道路行政全般について改善すべき点、要望や提案など

東京都羽村市

① 狭あい道路の整備については、市民が生活するうえでなくてはならない道路であり毎日使用しており、防災面や交通安全の観点から必要不可欠である。道路拡幅事業の際は、国庫補助として採択していただけたよう新たな補助メニューの拡充を要望する。
② 道路整備の新規事業については多くの補助メニューがあるが、道路等の維持管理に関する補助メニューがないため、国庫補助として採択できるよう創設を要望する。
③ 中心市街地活性化基本計画に基づく市街地の道路等の整備改善と商業等の活性化を一体的に進める補助メニューの新設を要望する。
④ 多摩川を管理している河川管理者において、左岸及び右岸の堤防及び遊歩道の設置を要望する。
⑤ 自転車が安全・快適に走行できる環境について、主要幹線道路の整備にあわせ歩道の拡幅・フラット化等の補助の拡充を要望する。
⑥ 幹線道路である都市計画道路の整備については早期の整備が必要であるが、財源確保が厳しい状況であるとともに都市計画決定されてから年数を経過し予定地に家屋等が建てられている状況もあることから、移転費や用地買収費、工事費等の補助の拡充や都市計画変更を行う場合には、その手続きが容易に出来るようにしてほしい。
⑦ 市街化調整区域を市街化区域への編入については、市の方針を尊重しスムーズな都市計画変更が出来るようにお願いしたい。また、道路等の基盤整備にあたっては補助の拡充をお願いしたい。
⑧ 電線の地中化は、都市景観の向上は勿論のこと災害時の倒壊被害の防止、交通の安全確保の観点からも大変重要であるが、市の財源だけでは対応が厳しいことから補助の拡充をお願いしたい。また、隣接市町を結ぶ幹線道路の電線地中化の補助については、個々の市町で実施するには効率が悪いことなどから同時施工等の補助採択や駅前等の地中化については、面を対象とした補助採択など、弾力的な対応をお願いしたい。
⑨ 多摩都市モノレールについては、広域を結ぶ新たな交通網であるとともに環境にもやさしい交通網であることから、早期整備が必要である。

今後の道路行政についての意見・提案

②ー1 地域の現状と抱える課題

東京都羽村市

○現状	○課題
①市内にある狭あい道路は、区画整理事業地区を除く青梅線以西地区に多くあり、防災面や交通安全面の機能増強を図るため、生活道路の拡幅等について整備を進めている。	①狭あい道路の拡幅については、東京都の補助メニューで事業を施行しているが、補助率が低いことから計画的な拡幅工事を進めることができない。
②市道の総延長は約155kmあり、常時良好な状態を保つための維持管理に努めているが、道路や橋梁等老朽化に伴う維持管理費の増加や想定外の集中豪雨による雨水対策などで苦慮している。	②道路や橋梁等の維持管理については、安心・安全な居住環境を維持していく上で重要であるが、多額な費用が嵩むため財源の確保が課題である。
③当市では、第四次羽村市長期総合計画や羽村市産業振興計画、羽村市商業振興計画等の計画に基づき、「中心市街地における市街地の整備改善及び商業等の一体的推進に関する法律」を踏まえ「羽村市中心市街地活性化基本計画」を策定し、この計画に沿って中心市街地の道路等の整備改善と商業等の活性化を一体的に進めている。	③この計画の課題としては、中心市街地へのアクセスの整備を改善する方法として、安全性・快適性の向上を図るために、①安全で快適な道路の整備、②歩道の整備、③バリアフリー化の実現等を行うことにより活性化を図っていく必要があり、財源確保が課題となっている。
④多摩川左岸については、河口から羽村堰までの53kmにおいて、一部(約1km)を除き遊歩道が完備しているが、当市内の堰上から青梅市に至っては、部分的にあるだけである。また、多摩川右岸の遊歩道は、河口から部分的には設置されているが、特に、多摩地区においては設置されていない状況であり、市民の環境意識の高揚により、自転車利用が進んでいる。	④④多摩川は、東京都の西部と神奈川県との都県境にまたがり首都圏の中核部を流れていることから、人口が集中している。こうしたことから、台風時の洪水に耐えられるような堤防の設置が課題となっている。
⑤市の幹線道路である都市計画道路の整備については重要な課題であるが、財源の確保が厳しく、また、都市計画決定後年数が経過していることから、すでに家屋等が建てられている。	⑤自転車利用が進むなか道路利用者の安全に配慮し、自転車安全で快適に走行できる道路環境の整備が課題である。
⑥市内には、昭和40年代に砂利採取が行われその後廃棄物などにより埋め戻しがされたことから、長期にわたり市街地調整区域に指定しているところがあるが、埋め戻し後30年以上が経過し周辺が市街化区域に囲まれ都市計画道路も整備されたことなど、開発のポテンシャルも高いにもかかわらず市街化区域に編入されないことから、新たな土地利用が出来ない。	⑥移転費用や用地買収費用、工事費用等の財源確保が必要であるとともに、柔軟な都市計画変更と、その手続きの簡素化が課題である。
⑦都市景観を向上させるため、市内の道路について東京都及び電力会社等へ電線地中化の要望をしている。	⑦市では市街化区域編入に向けた基本計画書を作成し取り組んでいるところであるが、道路等の基盤整備を行うためには財源確保をはじめ、土壌汚染が発生した場合の対策等が必要であることから、それらの財源確保と市街化区域編入に向けた都市計画決定等の手続きがスムーズに行えるよう関係機関の協力を得ることが課題である。
⑧多摩都市モノレールの整備については、市にとっても将来の公共交通網として大きな期待をしていることから、整備促進の要請を行っている。	⑧中心市街地の幹線道路等から整備を検討しているが、財源確保が課題である。
⑨多摩都市モノレールの整備については、市にとっても将来の公共交通網として大きな期待をしていることから、整備促進の要請を行っている。	⑨例年「多摩地域都市モノレール等建設促進協議会」を通じて建設促進の要望を重ねているが、国及び東京都がさらにその必要性を認識して整備に取り組んでもらうことが課題である。

今後の道路行政についての意見・提案

③道路施策の重点事項(代表事例、期待する効果や評価等)

重点事項		代表事例		期待する効果や評価等	
・地域活力の向上		○代表事例	○期待する効果や評価等	○その他	
		③中心市街地の一体的推進体制の整備	③駅周辺エリアを生活・文化・経済の中心とし、賑わいを創出するとともに、品と風格のあるまちづくりが図れる。		
・良好な生活空間、自然環境の形成		⑥市街化調整区域の市街化区域への編入	⑥市街化区域に編入することにより、新たな土地利用が期待でき地域の活力を生むことが可能となる。		
		②道路や橋梁等の維持管理	②道路等の補修等の伴い、交通安全の確保や居住環境及び景観形成の向上が図れる。		
・水害等の災害に強い国土作り		④多摩川の堤防と遊歩道の設置	④首都圏の中枢部を流れているため多摩川は、集中豪雨等による水害を未然に防ぐための堤防の築造や、河川敷を利用した遊歩道、サイクリングロード設置することにより、貴重な水と緑の空間が潤いを与えとともに、憩いの場として多くの人々に利用されているため、健康増進等の向上が図れる。		
		⑤自転車利用の促進と整備	⑤環境にやさしい乗り物である自転車を安全、快適に利用できるよう道路整備することにより、低炭素型都市づくりが推進できる。		
・総合的な交通安全対策及び危機管理の強化		①狭あい道路の拡幅	①生活道路等の狭あい道路の拡幅により、防災面や交通安全面の機能と居住環境の向上が図れる。		
		⑦都市計画道路の整備	⑦幹線道路である都市計画道路を整備することにより、市内の生活道路への通過車両が減少することから、交通の安全確保が期待できる。		
		⑧電線の地中化	⑧電線の地中化は、良好な景観形成が図られるだけでなく、災害等が発生した場合にも電柱の倒壊等による被害を回避し、安全性を確保することが期待できる。		
		⑨多摩都市モノレールの整備	⑨当市を含めた西多摩広域では南北の公共交通機関網がないため、将来の高齢社会に向けた新たな公共交通網の整備とともに、環境面にもやさしい交通網として期待が大きい。		

東京都羽村市